



素晴らしい歌声響く 合唱コンクール

10月16日(木)に合唱コンクールが開催されました。今までの練習成果を発揮し、各クラスが気持ちのこもった合唱を披露しました。平日にも関わらず、たくさんの保護者の方にもお越しいただき、ありがとうございました。



課題曲: 最優秀賞 3A
優秀賞 2A
優秀賞 2B
自由曲: 金賞 3A
銀賞 2B
銅賞 2A



【3A】

課題曲「心の瞳」
自由曲「栄光の架橋」



【2A】 課題曲「旅立ちの時」 自由曲「RPG」



【2B】 課題曲「旅立ちの時」 自由曲「チェリー」



【1A】 課題曲「大切なもの」 自由曲「Believe」



【1B】 課題曲「大切なもの」 自由曲「キセキ」



【全校合唱】「翼をください」



校外学習 ＜長島愛生園＞

9月25日(木)に1年生が人権学習の一環として、校外学習で長島愛生園を訪問し、歴史資料館を見学したり、学芸員の方からお話を聞いたりしました。ハンセン病について正しい知識をもち、理解するとともに、偏見や差別をなくすにはどうすればいいのかを考え、人権について考えを深めることができました。

【生徒の振り返りより(一部抜粋)】

- ・この校外学習を通して、これからは、みんながハンセン病について正しい知識を持ち、人権を大切にすることがとても大切だと思った。ハンセン病の歴史を学び、みんなが助け合い、差別のない世界をつくっていくことが必要だと思った。
- ・プロミンが開発されてから、らい予防法が廃止されるまで53年もかかっているし、長島大橋が架けられるまでも17年かかっていた。このことから、国の対応が遅すぎると感じた。なので、今も残っているハンセン病の問題についても、しっかりと向き合い、自分たちで考えていきたいと深く感じた。
- ・昔は感染病だと思われていた病気のため、年齢問わず療養所に連れていかれていたと分かった。現在では、園内名での本名や社会復帰の2つなどの問題が残っており、正しい理解を得ることが大切だと分かった。歴史資料館や学芸員さんの話で正しい理解ができたと思う。実際に行ってみることで分かることもあるので、実際に行ってみることが大切だと思えた。



校内弁論大会

10月7日(火)に各クラスの代表による校内弁論大会が開催されました。国語の授業で生徒は全員弁論の原稿である意見文を書き、学級弁論で発表しました。クラスの代表である弁士は、原稿を推敲し、覚えて校内弁論大会に臨みました。テーマは様々で、体験を交えて、自分の考えを堂々と訴えかけました。聴衆である全校生徒も真剣に耳を傾けていました。

【各クラスの代表者と論題】

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1A 「食事の大切さ」 | 1B 「当たり前感謝」 |
| 2A 「原爆から学んだこと」 | 2B 「勉強の大切さ」 |
| 3A 「四季」 | |
| 3A 「現代社会におけるAIの関係について」 | |



審査の結果、3年生の2名が、学校代表として、10月31日(金)にすこやかセンターで開催される玉野市弁論大会に出場することになりました。今度は学校代表として、堂々と自分の考えを述べてほしいと思っています。

新執行部がスタートしました

9月19日(金)に、三役の立会演説会と選挙がありました。(今年度は熱中症対策としてオンラインで演説を実施。) また、26日(金)には、委員長候補者による面接会が行われました。その結果、選出された新たなメンバーで執行部がスタートしました。

10月8日(水)には、任命式があり、旧生徒会執行部のメンバーを代表して前会長から、「新しい取組を考え、実行できて充実した1年だった。十分できなかったことは後輩に託したい。」という話がありました。また、新執行部のメンバーを代表して新会長から、「八浜中学校をより良くするために、執行部が中心になって活動を支えていこうと思うが、みんなの力で盛り上げていきましょう。」と所信表明をしました。旧執行部のみなさん、1年間ありがとうございました。そして新執行部のみなさん、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。よろしくお願いします。

☆全体のテーマ(目指すべき八中の姿)

共存共栄～原石を磨く～

このテーマは多様な個性や価値観をもつ私たち一ひとりが、お互いの違いを「理解」して「尊重」し合い、協力することで、誰もが居場所を感じられる学校を「共に栄えながら築いていく」という目標をもとに設定。